

「プライド(高ぶり) 嚴重警戒」

詩篇 131章

1

【主】よ。私の心は誇らず、私の目は高ぶ
りません。及びもつかない大きなことや、
奇しいことに、私は深入りしません。
まことに私は、自分のたましいを和らげ、
静めました。乳離れした子が母親の前に
いるように、私のたましいは乳離れした子
のように私の前におります。
イスラエルよ。今よりとこしえまで【主】を待
て。
詩131:1-3

2

イスラエルのプライド？

これ(神の命令)を守り行いなさい。そうすれば
それは国々の民に、あなたがたの知恵と悟りを
示すことになり、これらすべてのおきてを聞く彼
らは、「この偉大な国民は、確かに知恵のある、
悟りのある民だ」と言うであろう。

まことに、私たちの神、主は、私たちが呼ばわ
る時、いつも、近くにおられる。このような神を
持つ偉大な国民がどこにあるだろうか。」

申命4:6-7

3

自分への語りかけ

- わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。主の良くして
くださったことを何一つ忘れるな。詩 103:2
- 「のぞみも消えゆくまでに世の嵐に悩む時、数えて
みよ主の恵み、なが(あなたの)心はやすきをえん。
聖歌630
- この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜も
それを口ずさまなければならない。そのうちにしるされ
ているすべてのことを守り行うためである。そうすれば
あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるか
らである。わたしはあなたに命じたではないか、強くあ
れ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはな
らない。あなたの神、【主】が、あなたの行く所どこに
でも、あなたとともにあるからである。」ヨナ1:8-9
- 「雄々しくあれ強くあれ少年、少女たちよ。神様はどこ
にでもともにおられる。」聖歌657

4

自分たちへの語りかけ

- キリストのことばを、あなたがたのうちに豊か
に住まわせ、知恵を尽くして互いに教え、
互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、
感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。
コロサ13:16
- 詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主
に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。
エペ5:19

5

乳離れした子のように

同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。
みな互いに謙遜を身に着けなさい。神は高
ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えら
れるからです。ですから、あなたがたは、神の
力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちよ
うど良い時に、あなたがたを高くしてくださるた
めです。あなたがたの思い煩いを、いっさい神
にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配
してくださるからです。

1ペテロ 5:5-7、マタイ11:28-30

6

感情に支配されない

- 感情に支配されない。感情を王にしない。
- 感情を王にしてしまう歌
- フィーリング、王、王、フィーリング、、、

7

イスラエルよ

- ヤコブがイスラエルになった時 創世32:24-32
- パウロが「肉のとげ」から学んだこと 2コリント 12:7-10
- イエス様の十字架と復活 弱さの究極の勝利
- イエスは、みなの方に言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て 日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。 ルカ9:23
- 十字架は救いの道だけではなく、生きる道。

8

イスラエルらしく待て

- どうか、あなたのしもべへのみことばを思い出してください。あなたは私がそれを待ち望むようになさいました。 詩119:49
- 少年よ、大志を抱け、主にあつて
- 少年よ少女よ、まず主に抱かれよ。主の愛に抱かれながら、主といっしょに大志を抱け。主とスクラムを組んで(くびきを負って)いっしょに行け！(来い)！ マタイ11:28-30
- 狭い門から入れ。 マタイ7:12 狭い門=イエス様

9

プライド(高ぶり) 嚴重警戒

- プライド、高ぶりは、自分の知恵、知識、理解を基準(中心)とする。
- 聖書は、「主を恐れることが知恵の初め」(箴言 1:7)
- 自分の知恵、理解の限界を認める
- 神の計り知れない英知、力、愛を認める(もうすでに受けている。神によって生かされている。)
- 地球も宇宙も、細胞も、DNAも、命もすべて神の不思議で偉大なわざ。人間のわざでも、偶然でもない。神のわざ！

10

【主】よ。私の心は誇らず、私の目は高ぶりません。及びもつかない大きなことや、奇しいことに、私は深入りしません。まことに私は、自分のたましいを和らげ、静めました。乳離れした子が母親の前にいるように、私のたましいは乳離れした子のように私の前におります。イスラエルよ。今よりとこしえまで【主】を待て。 詩131:1-3

11